

ながおか 米百俵フェス ～花火と食と音楽と～ 2025 長岡市・米百俵フェス有限責任事業組合 共同記者発表要旨

日 時：令和6年7月11日（水）午前10時30分から
会 場：アオーレ長岡西棟3階 協働ルーム

【発表項目：ながおか米百俵フェス～花火と食と音楽と～2025 事業概要等について】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

米百俵フェス有限責任事業組合 総合プロデューサー 北牧 裕幸
(株式会社キューブ 代表取締役社長)

(司会)

「長岡米百俵フェス～花火と食と音楽と～2025」は、未来を担う子供たちの価値ある体験の提供や、ふるさと長岡への愛着の醸成寄与、広く国内に発信し得る新たなイベントの醸成による長岡の認知度向上と新たなファンの獲得、地域経済の活性化を目的に2018年から始めました。

途中、新型コロナウイルス禍による行動制限がありましたが、地元実行委員会をはじめ、多くのお客様からの温かい後押しにより、継続して参りました。

また昨年からは、球場やライブ会場に歓声に戻り始め、イベント業界は日常を戻しつつあります。

そして、今回の米百俵フェスもお客様にとって快適で居心地の良いフェスとして、会場を新たに、さらなるバージョンアップを遂げて開催して参ります。

それではまず初めに、米百俵フェスのプロモーションビデオをご覧ください。

(プロモーションビデオ視聴)

(司会)

続きまして、長岡市長・磯田達伸がご挨拶を申し上げます。

(市長)

長岡米百俵フェスは、2018年から開催され、去年までに5回開催しました。長岡市民のみならず、全国の皆さまから十分に楽しんでいただいていると思っています。

長岡出身の北牧社長は、未来の長岡を担う子どもたちや、長岡市民の明るい未来を作るため、この音楽フェスを企画し、そこに多くの賛同者が集まりました。

オール長岡で、長岡ならではの音楽フェスをこれからも盛り上げていきたいと考えています。

これまでの米百俵フェスは、天候の問題や会場へのアクセスなどが課題となっていました。このたび国営越後丘陵公園に会場を移し、5月に開催することになりました。

また、2年後には大積スマートインターチェンジが整備され、国営越後丘陵公園までのアクセスがよくなります。

国営越後丘陵公園の来場者は、年間40万人から50万人ですが、200万人から300万人の来場者に耐えられるような施設整備をされています。

例年5月は、香りのバラまつりが開催されており、全国でも珍しいバラ園を満喫していただけます。

キャンプなどの楽しみも拡大していく予定ですので、ぜひご来場いただいた方に長岡のファンになっていただき、そして米百俵フェスのリピーターになっていただきたいと願っています。

米百俵フェスの成功、これからの成長に向けて、精一杯支援していきたいと考えています。

(司会)

次に、「長岡米百俵フェス～花火と食と音楽と～2025」主催者であります、米百俵フェス有限責任事業組合総合プロデューサー、北牧裕幸からご挨拶と事業の内容についてご説明させていただきます。

(北牧総合プロデューサー)

今回新たに「シン・米フェス」として、第6回目の米フェスの開催を企画しています。

日程は来年5月24日・25日、場所は国営越後丘陵公園を予定しております。

場所と日程の変更理由ですが、場所に関しては、さらなるバージョンアップや動員増を見込んだ場合、現在の会場では手狭であったため、さまざまな大型野外イベントを開催してきた国営越後丘陵公園に会場を移すことにしました。

次に、日程に関しては、ここ数年、秋の長雨や台風が長岡を直撃してしまい、予想していなかった天候が続きました。そのため、過去の統計などを考慮し日程の移動を決めました。

今まで米フェスで行ってきた、花火・フードコート・キャンプ・キッズパークなどの全てのアクティビティは、国営越後丘陵公園に場所を移した後も開催予定です。

米フェスは、音楽ファンだけを対象としたフェスではなく、ファミリーで楽しめるフェスです。音楽を中心にしたグランフェスという言い方で、2世代・3世代で楽しめるフェスを目指してきました。このポリシーは変えず、「シン・米フェス」とし、ロゴも一新いたしました。

「シン・米フェス」を、市内県内のみならず、県外やインバウンドの皆さまにも楽しんでいただき、長岡の土地、風土を知るきっかけになればと思っています。

(司会)

それでは質疑応答の時間に入ります。

(記者)

場所の変更理由について、アクセスが良くなるからなのか、いまの会場では手狭だからなのか、どちらでしょうか。

(北牧総合プロデューサー)

両方です。国営越後丘陵公園では、これまでさまざまな野外イベントが開催されており、駐車場が非常に多く、インフラも充実しています。

いくつもの要因により、会場の変更をいたしました。

(記者)

会場はどのくらい広がりますか。

(北牧総合プロデューサー)

未定ですが、可能性から申し上げますと2倍から3倍は広くすることができます。

(記者)

国営越後丘陵公園の健康ゾーンに会場を設営する予定ですか。

(北牧総合プロデューサー)

以前行われたコンサートなどは、入口から入って右手の方に設営されており、そのような会場の設営を第一に考えています。

花火の打ち上げ場所の関係もありますので、現在精査しているところです。

(記者)

新しいロゴに込められた意味を教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

この新しいロゴは、県内のデザイン会社である、株式会社フレームに依頼して作っていただきました。

COME (米) と読めるようになっていて、それぞれの文字に人がいますが、これはファミリーを表現しています。

また、丘陵公園にあるシンボルツリーの形をしており、周りには花火が打ち上がっています。

(記者)

子どもたちとの連携や取組は考えていますか。

(北牧総合プロデューサー)

検討中ですが、子どもたちとの連携はしていきたいと考えています。

(記者)

花火はどのようなものをイメージしていますか。

(北牧総合プロデューサー)

音楽花火を中心としたプログラムを予定しています。

(記者)

市民の皆さまにメッセージをお願いします。

(市長)

生まれ変わった「シン・米フェス」が、長岡の元気を作っていく場になればいいなと思っています。ぜひ多くの皆さんにご来場いただければと思います。

(北牧総合プロデューサー)

長岡の誇るべきものの一つに、米フェスもなればいいなと思っています。

また、米フェスは皆さまと一緒に作っていきたいと思うので、皆さまもそういった気持ちで参加していただければと思います。

(記者)

「シン・米フェス」の出演者について、今時点で伝えることができる情報があれば教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

10月中旬に第一弾のアーティスト発表を行い、11月の上旬ころにチケット販売を開始したいと思っています。

(記者)

新しい取組などがあれば教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

新しい取組というよりは、国営越後丘陵公園はこれまで行ってきたことを拡充できる場所だと思っています。

(記者)

2024年に米フェスを開催しない決断をした背景や、いつごろから日時や会場移動を考えていたのか教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

変更については、去年の米フェス開催直後から考えていました。

また、キャストイングの面から5月に開催を延ばす決断をしました。

(記者)

夏などにフェスを開催することは考えなかったのですか。

(北牧総合プロデューサー)

米フェスは、ファミリー層を対象としているので、夏の酷暑での開催は合わないと判断しました。

(記者)

前回の動員数を教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

金曜日が少し少なかったですが、各日約1万人です。

(記者)

今後の米フェスの開催期間は定めていますか。

(北牧総合プロデューサー)

現時点では決めていません。

(記者)

開催期間が2日間になることで、出演者数などが変わったりしますか。

(北牧総合プロデューサー)

これから決める予定です。

(記者)

開催期間が2日間になることで、開催時間が長くなる可能性はありますか。

(北牧総合プロデューサー)

はい、ただ日帰りで楽しめる範囲で調整する予定です。

(記者)

動員目標が各日2万人とのことですが、全体の規模感がパワーアップするイメージですか。

(北牧総合プロデューサー)

はい、それに加え香りのばらまつりが同時開催の予定です。

当日は米フェスで貸し切りのではなく、一般利用のお客さんも香りのばらまつりやフードコート、キッズパークなどを楽しんでいただく予定です。

(記者)

米フェス参加者の会場への入場方法について教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

米フェス参加者は、専用の場所でチケットのもぎりをする予定です。

(記者)

国営越後丘陵公園全体に対して、どの程度を会場として使う予定ですか。

(北牧総合プロデューサー)

約半分程度使わせていただく予定です。

(記者)

チケットの価格などについて教えてください。

(北牧総合プロデューサー)

価格はこれから考えたい思っていますが、大幅な値上げや値下げは考えていません。

(記者)

市民割のチケットは継続予定ですか。

(北牧総合プロデューサー)

引き続き販売予定です。

(司会)

以上をもちまして、記者発表を終了いたします。